

## 【阿蘇ジオパーク推進協議会】

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツアーの名称</li> <li>・実施時期</li> <li>・エコツアーの内容</li> <li>・問合せ先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇ジオパークツアー</li> <li>・通年</li> <li>・阿蘇火山は、世界有数の巨大なカルデラや多くの火山体で構成される火山群などの雄大かつ多彩な地形・地質を特長とする。また、特有の文化や景観が育まれてきた。このユネスコ世界ジオパークでは、33ヶ所のサイト（見どころ）が点在し、希望に応じたオーダーメイド型によるツアーを提供する。専門的な知識を習得したガイドが楽しく分かりやすく案内する。</li> <li>・阿蘇ジオパークガイド協会 TEL：0967-34-2089</li> </ul>
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p>	<p>〈自然環境の保全〉自然観光資源の保全を目的に、簡易モニタリングと定期モニタリングを実施している。簡易モニタリングは、阿蘇ジオパークガイドの協力による調査、定期モニタリングは、阿蘇草原再生協議会や阿蘇山遭難事故防止対策協議会による調査を反映。サイト（見どころ）にあっては、データベースを構築し、その維持管理を徹底している。</p> <p>〈観光振興〉阿蘇ジオパークガイドによる令和3年度の案内実績は、941名（対前年比45%減）、JR九州クルーズトレイン「ななつ星」の早朝オプションツアーにも対応しており、年間73件（対前年比78%増）を案内。大観峰のボランティアガイドに加え、新たに南阿蘇大橋のボランティアガイドを始めた。旅館組合と連携した阿蘇カルデラツアーの催行に協力している。期間限定による阿蘇観光周</p>

	<p>遊バスのガイドも担当した。阿蘇火山博物館を拠点とした国内外への情報発信に取り組んでいる。</p> <p>〈地域振興〉阿蘇で生産・産出され、阿蘇の大地と人々の暮らしのストーリーを物語ることのできる豊かな発想をもって開発された商品を「阿蘇ジオパークブランド」として認定している。この認定品には専用ロゴマークを与え、積極的な利用・広報がなされている。平成24年から始めたこの制度は、現在では食べ物や土産品、雑貨など約60品目に及ぶ。</p> <p>〈環境教育の場としての活用〉熊本県立阿蘇中央高等学校では「阿蘇ジオパーク学」を必須科目としている。さらに、高森高等学校や小国高等学校へも同種の取組みが進んできた。小学生向けには、国立阿蘇青少年交流の家と連携し、「ジュニアジオガイド講座」を継続している。地域への普及啓発としては、ジオパーク地域巡回講座「阿蘇ジオパークを語ろう！」を四半期毎に開催している。その他、有識者招聘による講演会・研修会なども。</p>
特記事項	<p>ユネスコ世界ジオパークとして認定されている阿蘇地域8市町村の区域で、既に活躍しているガイドや構成自治体、その他関係する団体などとワークショップを交えながら「地域通訳案内士育成等計画」を調整し、令和元年6月12日付け観光庁から同意を得ている。当該地域における通訳案内に必要となる知識や能力を習得した質の高い地域通訳案内士の育成と確保を図るための措置を講ずるなど、地域そのものの観光の質を高める態勢の確立を目指すため、計画に基づき、研修及び口述試験を行った。結果、本地域では令和3年度に13名の地域通訳案内士が誕生し、計31名となった。今後の活躍に期待される場所である。</p> <p>本地域は、令和2年8月12日付け、文化観光推進法に基づく地域計画の認定を受けた。持続可能な</p>

	<p>運営体制の確立と拠点施設である阿蘇火山博物館の機能強化を図っている。</p>
--	---